

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町吉町田12-1
TEL:68-7233

8月実績と9月計画

日程	事業名称	実績	備考
8/1(火)	自然観察と体験学習	済	
8/19(土)	公民館運営審議会(2)	済	
9/2(土)	神ノ郷町敬老会		
9/13(水)	すこやか講座(6) 健康教室		
9/24(日)	みんなで歩こう健康作り大会		

自然観察と体験学習



(三河港カモメリア展望台にて)



(マルカ農園にてメロンの試食)



(サンテパルクにてアイスクリーム作り)

8月1日(火) 児童講座・自然観察と体験学習を実施しました。当日は児童30名と付添いの父兄10名で8時30分館長から熱中症等の諸注意を受けた後バスに乗り込み西部小の先生や父兄のお見送りを受けて出発しました。最初の見学先は三河港カモメリアで展望台から見ると一面が車だらけで車の輸出港で有り、日本最大の輸入港でも有るの説明をうけ車を積み込む手段のみずすましも見れました又小さい子たちは床面に印刷されている航空写真から西部小や自宅を車座になり真剣に探す姿が微笑ましかったです。その後メロンを食べ今回の目的地サンテパルク田原に着き昼食を取った後アイスクリーム作りを行いました。写真のように1テーブル6人に分かれ大人から子供まで自分の食べる分は自分で必死に作りました。手順は、①卵の黄身を白くなるまで攪拌する②ホイップした黄身と牛乳とバニラを温める③2を冷やす④3をアイスクリームメーカーに入れ攪拌する⑤攪拌に力があるようになったら完成、そしてソフトクリームカップに盛り付け美味しく頂きました。その後水遊びをした後帰路に着きました。PTAまた子供会役員の協力があり無事行うことが出来ました。有難う御座いました。(小林)



市民憲章実践者表彰

7月26日(水) 市民会館大会議室で蒲郡市民憲章推進協議会総会がありその場で市民憲章実践者表彰が行われ、西部地区からは平成28・29年度公民館長であった大森栄敏さんが推薦を受け審査の結果表彰が決まり受けました。以下推薦した文を掲載させていただきます。

西部公民館長として公民館活動など地域の為に尽力され、中でも、平成29年に『神の郷町所蔵文書(公民館保存文書)』である江戸初期からの古文書「筆筭」が発見された際には、劣化の激しい古文書を適切に管理するため、博物館への防虫処理依頼や専門家への修復依頼、整理の過程の目録作成等、大森元館長を中心に作業を進めてきました。



平成29年には集大成として『神ノ郷展』を開催し、町民や市内の郷土史愛好家等、多くの方々へお披露目こともできました。

修復・整理の作業は現在も継続中ですが、第一歩ご尽力頂いた功績は、蒲郡市民憲章実践者表彰に値する者考えられます。(小林)

みんなで歩こう健康作り大会案内

西部公民館・西部小学校コラボ企画



開催日 9月24日(日) 8:30 西部公民館出発
参加申し込み 9月15日(金) 西部小児童は学校に提出、それ以外の方は公民館に申込み用紙を提出ください。申込み用紙は西部公民館に用意してあります。

- 《参加資格》
- ★小学3年生以上の市内の皆さんどなたでも参加できます。
 - ★小学2年生以下のお子様は保護者同伴で参加下さい。
 - ★参加費用200円/人です。

問合せ先
：西部公民館68-7233

くるりんバス利用促進

7月は1便あたり1.2人(月間148人)の利用でした。9月の敬老月に合わせ、ご高齢の方の交通安全やバスの利用促進の為、回数券の割引販売をします。1綴りあたり500円で町内在住の方全員が対象です。販売枚数は50枚限定で先着順になります。区・公民館での販売となりますので申し込みは区・公民館まで。

村祭りを楽しもう（赤日子神社例大祭）



10月1日（日）は赤日子神社の例大祭です。前年は神社のあちこちにあるお宝について公民館だりに掲載しました。今年では式典について令和4年度に撮らせていただいた写真をもとに書きました。この式典は午前9時から周辺地区の総代・神社役員・区議員などが参列し右下の写真の様に社務所の前から拝殿に入っていきます。何度か参列していますが分からない所も有りインターネットで検索してみました。祭典の式次第は概ね次のように進行していきます。

- ・修祓『しゅぱつ』お清めお祓いの儀式
- ・降神の儀『こうしんのぎ』神籬に神様をお招きする儀式
- ・献饌『けんせん』神様にお供え物を献上する儀式
- ・祝詞奏上『のりとそうじょう』
- ・参進『さんしん』
- ・開式の辞
- ・宮司一拝『ぐうじいっぱい』
- ・御扉開扉『みとびらかいひ』

と進みます。（神社によっては多少の違いはあるようです）

この式典のなかで一番華やかなのが巫女さんによる浦安の舞です。浦安の舞とは日本の古語で『浦』は『こころ』、『安』は『安らぎ』を意味し、平和を願う為に作られた『巫女舞』で『扇』と『鈴』を用いて舞います。前半は扇を使った『扇舞』、後半には鈴を使った『鈴舞』の2つに分けられています。始まりは昭和15年に開かれる『皇紀2600年奉祝会』に合わせ多忠朝さんが作曲作舞しました。歌詞は昭和8年昭和天皇がお詠になられた『天地（あめつち）の神にぞ祈る 朝なぎの 海のごとくに 波たたぬ世を』が歌詞となっております。神社役員にお願いし遠巻きにでもご覧になりこんな願いが込められた舞だと感じ取って下さい。多くの方の参拝をお願いします。（『朝なぎ』の『なぎ（凧）』とは風力0の状態を表します。（小林）

鵜殿氏の研究のこぼれ話（石井文雄）

1 鵜殿氏の紋章について

私は、地元の住民でなく、三谷町に住んでいる一郷土史家です。蒲郡新聞で「鵜殿家史まんだら」を連載して11年半になります。筆名を石井文雄と申します。今の連載の前には「がまごおり石碑めぐり」を12年にわたり連載していました。石碑を「いしづみ」とも言いまして、それをヒントに考えました。よろしくお願いします。

公民館長の小林さんとは、僅か1年前くらいのおつきあいです。市立図書館で公民館だりを入手することがあり、現在の家康ブームの先取りの記事が気になって、時々訪問して雑談するようになったのが、今回の連載の下地になっています。

論文や機関紙の記事のように堅苦しい物ではなく、読み切りの軽い随想くらいに考えてください。しかし、書く内容については、根拠のある話として、自信を持っています。

旗本の鵜殿氏は、紋章に丸に三石畳を使うことになっています。俗に、三つの切り餅、三つの団子と書く人もいます。石畳は、屋外の敷地に歩行を助け、美観を整える意味で設けますが、一面を敷きつめるのも、そうでないのも風情があります。三には、何らかの意味があると思います。熊野三山（本宮・新宮・那智）を表す説もありますが、それぞれの神社では三巴を専ら使います。三重県紀宝町の諸手船の倉庫には、三石畳の紋章があります。

蒲郡市の神倉神社、長存寺では、石碑に使われます。しかし、三河の各地に、武士ではない鵜殿氏の家もいくつかあり、その多くは違い鷹羽です。大名には、土屋氏や菅沼氏に見られます。沼田頼輔氏の『日本紋章学』では、嵯峨源氏の鵜殿氏に五三桐、藤原氏の鵜殿氏に鳶・獅子牡丹・三盞を使うとしています。私は、東京の長応寺で鵜殿氏の墓碑を調査したことがありますが、鳶もよく見かけました。私はテレビの時代劇もよく見ますが、家名と家紋が一致しないのを見ると、文句を言いたくなります。皆様の家でも、家紋があれば、遠い先祖に思いを寄せる遺伝情報とさせていただきますと、幸いです。

令和6年の公民館での上ノ郷城関係展示物等の取り扱いに関して

皆様、NHK大河ドラマ『どうする家康』見えていますか？、公民館では令和4年度立案の計画に基ずき令和5年1月から上ノ郷城推定復元模型の展示や御城印の販売をしてきました。1月から6月末までに、この関係で来館された方は4139名おり大変にありがたいことと感謝しています。ちなみに御城印は212枚購入して頂きました。公民館事業では、6月に御高齢の方対象に社会見学として『田鶴を訪ねて』をテーマに浜松方面に行き浜松祭りの起こりなどを知り、6月末には橋本孝明先生をお招きして『神ノ郷の歴史を訪ねる』をテーマに講演して頂き多くの方に聴講頂きました。この上半期で歴史通の方も随分と増えた事と思います。

さて今月より公民館だりに職員が郷土史を書く上で何かと指導して頂いている二村順二先生にお願いし『鵜殿研究のこぼれ話』と題して、鵜殿氏や上ノ郷城の文を書いて頂き連載を致します。楽しく、よく読んで通になってください。次に、来館されたお客様から頂く言葉の中で蒲郡では、『歴史の中での鵜殿氏や上ノ郷城がとても過小評価されすぎている、もっと高く評価されるべきだ』を多くの方に言っていただきました。過小評価されない為にはこの地区の私達がより多く地区の歴史を知る事が大切と考え、これからも関連した事業や文を載せていきます。

現在令和6年1月からの計画を検討中で、今年のように多くの来客は見込めませんがぼつぼつと来る皆さんを大切にされた対応を計画しています。

- 1, 上ノ郷城推定復元模型の展示期間延長。（R5年12月末の予定をR6年12月末）
- 2, 御城印の販売を引き続き行えるよう博物館にお願いする。
- 3, 観光協会の蒲郡戦国歴史巡りの図に西部公民館で模型展示をしている事を入れて頂く。
- 4, 上ノ郷城周辺マップはバージョンアップ版を作成し範囲を少し広げる。

これら次年度計画は第2回運審に計った上で整理し公民館だりよりご連絡させていただきます。

（小林）